

グループディスカッション ワークシート

グループ名: A

【テーマ】「地域自立支援協議会の役割について

～多くの市民が分野や違いを超えてつながり合う地域づくりのために～」

- ・グループで出た意見や話し合った内容など

【地域自立支援協議会を知った経緯】

- ・元々は民生委員として活動をしている中で、福祉関係者から協議会の存在について知り、委員に応募した。それまでは、協議会があることすら知らなかった。
- ・関係者に声をかけてもらった。
- ・他の地域で協議会が活動をしていることを知り、武蔵野市はどうだろうと思って参加した。

【実際に地域自立支援協議会の活動に参加してみた感想】

- ・地域の声を聴く機会となった。
- ・相談への敷居が下がった。
- ・他の障害について知る機会になった。
- ・皆が努力すれば、健常者も障害者もつながり合える地域づくりができると思った。

【市民に地域自立支援協議会の活動を知ってもらうための方法】

- ・かたいイメージがあるため、まずはイメージを砕いていく、間口を広げるのはどうか。
- ・チラシを配って周知できる相手は、元から福祉に関心が高い人が多いため、それ以外の方法を検討してはどうか。
- ・例えば、ポッチャ交流会やのど自慢大会、麻雀など、楽しい場を設けて、「友達が行っており楽しかったと聞いた」など、“面白そう”と思ってもらえることが大切なのではないか。コミュニティセンターの既存の会に参加する方法もあれば、協議会主体で新しく場をつくる方法がある。「あったかまつり」を活用してはどうか。